



がちょうのペチューニア

がちょうのペチューニアシリーズ

ロジャー・デュボワザン 作

まつおか きょうこ 訳

富山房 1999年 1470円

32ページ 26×21cm

がちょうのペチューニアは、散歩の途中で1冊の本を拾いました。本を持っているだけで賢くなれると勘違いしたペチューニアは、かたときも本を離しません。すっかり自分は賢くなったと思いこんだペチューニアに、いろんな動物たちが相談をもちかけますが、そのたびにみんな散々な目にあいます。何度かの失敗の後、ようやくペチューニアは、本は持っているだけではだめで、中身を読んで頭や心に入れてこそ役立つことに気がつくのです。ペチューニアをはじめとする動物たちのコミカルな表情とやりとりが楽しい絵本です。



かにむかし

木下 順二 文 清水 崑 絵

岩波書店 1976年 1680円

1冊 33×26cm

「むかしむかし、かにか しおくみを しようと おもって、はまへへ出たところが、すなの うえに、どこから どうして きたもんだか、ひとつぶの かきのたねが おちておった…」

おなじみの昔話「さるかに合戦」の絵本です。方言をまじえた独特の語り口と、味のあるユーモラスなさし絵が、昔話の雰囲気をよく伝えています。声に出して読んでみると、よりいっそうこの絵本の世界が楽しめるでしょう。

